

協力して、工場に居るものも、自分は働かないでも働く夫を持つてゐるもの、子供を働かしてゐる人に現在の儘にしてゐると、如何なるか？ といふ事を述べ「なるほ」と思ふ人は自分は元より、知つて人に働めて、組合に入會して戴きたい。

○皆さんが、よく御承知でもありますが、市場魚屋八百屋に買物に行かれた時、その日に高い日と安い日とがある。それはその日に魚や青物を市場に多く来る日と少ない日と原因するので、多い時は安く、少ない時は高いの言葉をまたない、その日は安くとも翌日は高い事もある。しかしよく考へて戴きたい。品物が少い時は高くても早く賣れ儲けもある。多い時は安く賣つて労働も苦心も多くてその割に儲けがない。骨ばかり折れる「何を苦んで薄利多賣する必要があるか」と考へ、今の世の中では凡ての生産品は少く、賣り安い様に、何日も不尾勝である、多く生産する事は斷じてない。若し造つても倉庫に收めて必要に應じて賣る今の制度では、如何なる機械が發明されても、如何なる技術者が出て来ても決して、物價は下落せず、一枚の着物一足の下駄に對して儲けを取るの物價の高いのは當然である。利に敏い資本家は之を一般に利用して金儲けをする、又資本家に儲けさせたい事は利用される者がある事になるだらう、日本の物價が世界中で一番高いだけ未だ日本の婦人が覺醒しない事になる。婦人の覺醒しない事は物價迄に及ぼすのである。

○今の産業界で、女でなければ出来ないと云ふ仕事は一つもない。御覧なさい。紡績でも、機織り工場でも、ゴム工場でも、始めは皆男がやつてゐたのを、女は賃金が安いとか、従順である(だまし易いので)資本家に都合がよいから使ふので、女でなければ出来ないと云ふ譯ではない。

機械が發明され、改良されるにつれて、動力と技術があまり要せないので、至極簡易になつて取て熟練した高給職工や、勞力を持つた成年職工を備はずとも、女や子供のやうな、繊弱者で、儼に仕事が出来た様になつて来たので、今の世の中では金へ持つてゐると立派な人であり、人格者である如く、教育家は教育し、宗教家は持ち上げるので、なんでも金持になりたいといふ者が多いので(今の制度では、いくら働

使ひ易い、その上生命を云はないので、女を働かす、昨日迄男のした仕事でも女がやる、男の仕事も女が、追々奪ひ、男は働く仕事が無く、有つても賃金が安い。それで、一般に男の賃金が下がり男一人で働いて、一家を養ふて来たものが妻も子も働かし、自分が働かず妻と子を働かして口糊を凌がなくてはならん様になつた。夫婦として、家族としての樂しみ子供の養育はどうか、妙齡の女工の將來はどうかを考へる時、姦通私通墮胎となり、更に重大な罪惡不道徳を生む原因となるのである、見よ可憐なるもの、荷しくも身を教育界に置きながら、女学生を盗み、校長は女教員を姦むのであるから腐敗し墮落した工場内に於て人妻であるなどと別なく監督が女工を姦んで起つた悲劇慘劇の實例は數限りなく、家庭は紊亂し家庭生活は破損されるのである、婦人が働く様になつて以來、弊害は一々列挙するに限りがない。

更に申します、労働をせすとも労働者の妻となつてゐる人よ、景氣のよい時でさへ、食ふや食はずに居り乍ら一朝不景氣が来た時一大苦痛は失業問題である(失業者の出る原因は、別に述べるとして)失業者の多く出る時は、一般何處へ行つても口がなく、探すのに非常な苦心をして、例へあつても、土地の關係上オインレと行く事も出来ず、自分の手慣れた種類の職業以外の仕事に就く事は困難であり外の仕事に従事するにしても、賃金が安い、長く失業して居れば餓死するか、盜するか、しかたがない、かゝる時に夫と共に、苦しむ故に妻としても考へる必要がある。

以上述べた如く、資本家が暴擧を行ひ、非人道的の行爲は労働者にもその家庭にも物價にも總て害する鬼か惡魔である、正義人道はどこにあるか、見よ、弱い女や子供が働き強壯の男子が遊んでゐる、其の慘劇を自視し難く不運な人々のため自分のため、全力を注がねばならん。

最早労働組合に關して云ふ必要もないが、労働問題の第一歩として妻を夫の許に、子を母の許に返して、一家の團樂の樂を得、尙進んで資本主義の破壊に力を入れるため、團結する様重ねて勧める。

No.

書 込 申		氏名	生年月日	現住所	本籍	職業	紹介者
神戸婦人労働組合御中							
大正	年	月	日	申込者			
		年	月	日生			